

佐藤琢磨氏の HRC「エグゼクティブ・アドバイザー」就任について

株式会社ホンダ・レーシング（以下、HRC）は、これまで世界最高峰レース FIA^{※1} フォーミュラ・ワン世界選手権（以下、F1）への参戦や、インディアナポリス 500 マイルレース（以下、インディ 500）の 2 度の制覇など、世界トップカテゴリーで活躍してきた佐藤琢磨氏とアドバイザー契約を締結し、Honda と HRC の四輪レース活動全般における助言・サポートを行う「エグゼクティブ・アドバイザー」に就任いただきます。

佐藤琢磨氏は、1997 年に Honda のドライバー育成プログラムである鈴鹿レーシングスクール（現ホンダ・レーシング・スクール・鈴鹿^{※2}、以下、HRS）を卒業した後、2001 年に英国 F3 選手権チャンピオンに輝くなどの活躍を見せ、2002 年から F1 に参戦。2004 年のアメリカ GP では 3 位表彰台を獲得しました。

その後、2010 年よりアメリカのインディカー・シリーズに参戦し、F1 モナコ GP、ル・マン 24 時間レースと並ぶ「世界 3 大レース」のひとつとして知られるインディ 500 において、日本人では唯一となる 2 度の優勝を達成しました。

2024 年シーズンも、5 月 26 日（日）に開催されるインディ 500 に、Rahal Letterman Lanigan Racing（レイホール・レターマン・ラニガン・レーシング）より参戦し、3 度目のインディ 500 制覇を目指します。

Honda はこれまで、佐藤琢磨氏に、HRS のプリンシパル（校長）として Honda のドライバー育成に尽力いただいています。それに加え、今後はエグゼクティブ・アドバイザーとして、国内外のドライバー育成戦略やプログラムの策定、レースの参戦計画や運営体制などに助言とサポートを行っていただきます。

また、HRC ブランドの商品展開の際には、佐藤琢磨氏のトップレーシングドライバーとしての経験と知見を投入し、さらなる HRC ブランドイメージの向上を目指します。

※1 Fédération Internationale de l'Automobile（国際自動車連盟）の略称

※2 ホンダモビリティランド株式会社が運営するレーシングドライバー・ライダー育成スクール



■佐藤琢磨氏のコメント

「長年にわたって私の『夢の実現』を支え、二人三脚で歩んできた Honda との絆の象徴ともいえる『HRC エグゼクティブ・アドバイザー』への就任を心より誇りに思います。私が培ってきた技術と経験を後進に伝えていくことに加えて、自分も“No Attack, No Chance”の気持ちを忘れることなく、チャレンジャーとして Honda/HRC とともに新たな挑戦を続け、さらなる Honda モータースポーツの発展に貢献できるよう努めてまいります」

■株式会社ホンダ・レーシング 代表取締役社長 渡辺康治のコメント

「レーシングドライバーとして進化を続け栄冠に輝いてきた佐藤琢磨氏を我々HRC のエグゼクティブ・アドバイザーに迎え入れることを大変うれしく思います。佐藤琢磨氏には、これまでも HRS のプリンシパルとして若手ドライバーの育成に大きく貢献していただいております。今後は HRC のエグゼクティブ・アドバイザーとしてさらに活動の幅を広げ、Honda のモータースポーツ活動を多角的にサポートしていただけることを心強く思います。また、佐藤琢磨氏の魅力は、そのドライビングスキルだけでなく『勝利を目指しチャレンジし続ける強い信念』にあると思います。今年もインディ 500 に果敢に挑戦する姿を称え、3 回目のインディ 500 勝利という金字塔を打ち立ててくれることを心より願い、ファンの皆様とともに精一杯応援したいと思います」

■佐藤琢磨氏の主な経歴

- 1997年 鈴鹿レーシングスクール フォーミュラ (SRS-F) を卒業
- 2001年 英国 F3 選手権チャンピオン
マスタース F3 優勝
マカオ GP 優勝
- 2002年 ジョーダン・ホンダより F1 デビュー
- 2003年 B・A・R ホンダに移籍
- 2004年 F1 第9戦アメリカ GP で3位表彰台
- 2006年 スーパーアグリ・ホンダに移籍
- 2010年 KVレーシングからインディカー・シリーズに参戦
第94回インディアナポリス 500 にてインディ 500 に初挑戦、20位完走
- 2011年 インディカー・シリーズ第8戦で日本人初のポールポジション獲得
- 2012年 レイホール・レターマン・ラニガン・レーシングに移籍
第4戦サンパウロで自身初の3位表彰台
第96回インディ 500 にて終盤まで優勝争いを演じるも、惜しくも最終ラップでスピン
- 2013年 AJフォイト・レーシングに移籍
第3戦ロングビーチでインディカー・シリーズ日本人初優勝
- 2017年 アンドレッティ・オートスポーツに移籍
第101回インディ 500 で日本人初優勝
この勝利により内閣総理大臣顕彰受賞
- 2018年 レイホール・レターマン・ラニガン・レーシングに移籍
- 2019年 鈴鹿レーシングスクール (現ホンダ・レーシング・スクール鈴鹿) プリンシパルに就任
第103回インディ 500 でトップに約0.3秒及ばず、3位
- 2020年 第104回インディ 500 予選で日本人過去最高位となる3位
決勝レースで自身2度目となる優勝
- 2021年 第105回インディ 500 で連覇を狙うも、14位。
- 2022年 デイル・コイン・レーシング・ウィズ・リック・ウェア・レーシングから参戦
- 2023年 チップ・ガナッシ・レーシングからオーバルコースでのレース5戦に参戦、
第107回インディ 500 は7位